資料４

地域福祉推進会議

令和　６年　３月１８日（月）午前１０時３０分～

【目　的】

多様な人々が共に生き、共に支え合い、共に楽しむ地域をつくりあげていく「地域福祉」をすすめるために、行政・地域住民・関係機関等多様な人や団体が「だれもが安心して暮し続けられる地域づくり」を実行するために開催します。

重点項目①　新たな西成区の地域福祉推進体制（つたえる、つくる）

➤第２期西成区地域福祉計画をつたえる

➤地域活動情報を提供する（常設）

重点項目②　地域福祉活動への参加促進と担い手の確保 (一緒にすすめる)

➤介護予防と健康寿命を延ばすために

ボッチャ

Eスポーツ

ウォーキング

重点項目②　地域福祉活動への参加促進と担い手の確保（一緒にすすめる）

➤認知症の人にやさしいまちづくり

◆認知症サポーター養成講座を受講
（認知症の人や家族を見守る応援者）

158名

◆ステップアップ研修を受講
（認知症の人や家族を支えるボランティア活動者）

5名

◆チームを結成！ちーむオレンジサポーター
（地域で認知症の人や家族と一緒に活動するボランティアチーム）

2チーム

➤LINEを活用した情報発信

重点項目④　複合的な課題を抱えた人への支援体制の構築（支援する）

➤つながる場開催、相談件数➤相談件数２５件　つながる場９件（２月末現在）

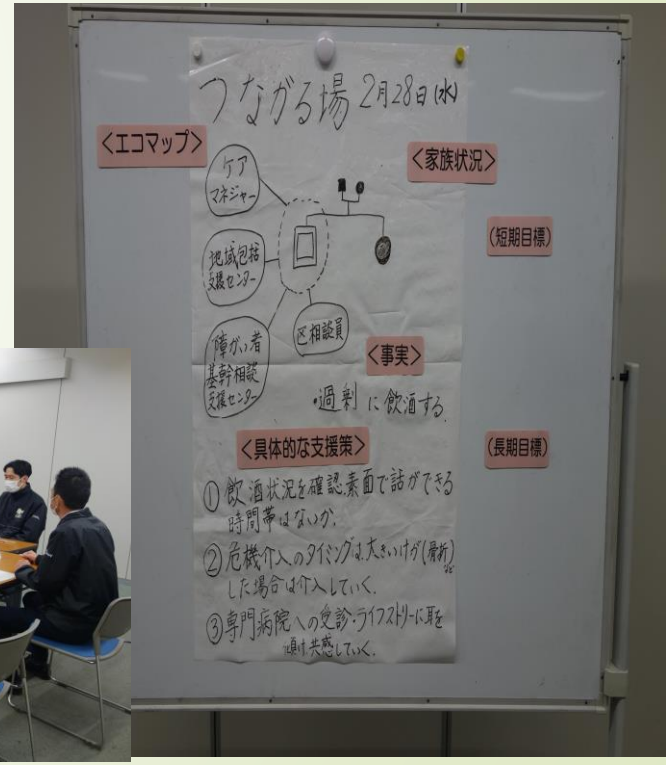
➤福祉専門職等による定期的(１回/2か月)な事例検討会の実施

➤精神保健部会シンポジウムを開催(R6/2月)

【一部】講演会「アルコール依存症の本質を理解しよう」
新生会病院長　和気　浩三さん

【二部】寸劇「支えよう！しげさん」
～アルコール依存症者支援多職種連携～

▶アルコール依存症の方への支援
▶つながる場の役割
▶支援困難事例を通じた共感と連携



➤民生委員・児童委員に対し**「つながる場」**の周知と協力依頼 ※　**別紙1 参照**

重点項目

③要援護者の発見と地域における見守り体制の強化（支える体制をつくる）
⑤地域の生活課題の解決や自分達の住む地域を「考える」場づくり支援
＜共通テーマ：要援護者名簿の活用と地域の見守りについてみんなで考える＞

【取組状況】

松之宮地域

▶要援護者名簿の活用範囲
地区社協から**各町会へ拡大**

町会長会議・民生委員会議
ネットワーク委員会等で説明

▶２町会で見える化

津守地域

▶町会・民生委員・ネットワーク委員「気配りさん」等による見守り活動

▶町会未加入地域の見守り活動
➡市営住宅の自治会と話し合い

【ニーズ調査】

高齢世代
・福祉サービスの利用者
・地域交流に消極的

40～50代の障がい者
・地域とのつながり方がわからない

共通事項
・病気や障害、1人暮らしに関する不安あり

【これから】

◆各団体へ見守り活動の周知
（動機付けとなる働きかけ）

◆見守り活動と防災訓練の協働

◆要援護者名簿の見える化を継続

◆災害時を見据えた見守り活動に向けて
➡話し合う（情報の共有化、手法等）

◆市営住宅の自治会との話し合いを継続
➡集会所を活用した居場所づくりへ

重点項目
③要援護者の発見と地域における見守り体制の強化（支える体制をつくる）
⑤地域の生活課題の解決や自分達の住む地域を「考える」場づくり支援
＜共通テーマ：要援護者名簿の活用と地域の見守りについてみんなで考える＞

飛 田 地 域

令和5年10月～
NPO大阪災害ボランティアを設立

▶飛田地域内に拠点を置き活動

▶地域住民が参加

▶被災地支援・防災訓練等の実施

▶地域活動の情報発信など

連　携

民生委員が活動

▶見守り相談室と家庭訪問
➡要援護者名簿への同意確認

▶要援護者名簿への同意者を訪問
➡登録内容の確認（情報の更新）

➡地域の活動を紹介

➡顔の見える関係づくりへ

➡今後の取組み：名簿に登録がない要支援者の把握と見守り

地域福祉フォーラム

『みんなが助かる！みんなで助ける！！』～西成区の防災力の向上をめざして～

【アンケート結果】　回答者数；50人

- 70代以上：33人
- 西成区内居住者：42人
- 「ためになった」44人

（自由意見から）

- 「防災力の向上をめざして」は継続的な実施を希望する
- 日頃のご近所の見守り活動の大切さを改めて感じた
- 住民主体の避難計画の大切さと、日頃からのつながりづくりのための策を考える必要がある
- 各地域で、年に1～２回住民全員での訓練が必要
- 都会とかけ離れた話、西成区の話が聞きたかった
- 参加者が少なかったのが残念
- 区独自の工夫が絶対必要、つながりづくりは進んでいない
- 防災は町会ごとにしっかりした方がよい
- 防災訓練は行っているが、一般の人の関心が薄いのが残念